

国際交流 Newsletter

2016年12月号

発行 延岡市役所総務部国際交流推進室（総務課内）（国際交流員： カリナ・ブリス）

〒882-8686 延岡市東本小路2-1 T e l . (0982) 22-7006 M a i l : kokusai@city.nobeoka.miyazaki.jp

☆ クリスマス ☆ Christmas ☆ Weihnachten ☆

Das Jahr neigt sich dem Ende zu und viele der ALTs und CIRs nutzen diese Gelegenheit, um in ihr Heimatland zu fliegen. Für mich wird es jedoch das dritte Weihnachten und Silvester werden, dass ich in Japan verbringe. Die Bräuche und Traditionen an Weihnachten und Silvester in Deutschland unterscheiden sich recht stark von dem, was ich in Japan kennengelernt habe. Weihnachten hat einen besonders großen Stellenwert in Deutschland und man kann schon Monate im voraus Weihnachtsgebäck, Stollen und Lebkuchen in den Läden finden. Herrscht in Japan bis Ende Oktober noch Halloween Stimmung, so beginnt in Deutschland bereits die Vorfreude auf Heilig Abend.



クリスマス・ツリー

So richtig beginnt die Weihnachtszeit aber erst rund einen Monat vor Weihnachten. Diese Wochen vor Weihnachten werden Adventszeit genannt. Manche Familien schmücken ihre Wohnungen festlich und auf den Tisch wird ein Adventskranz aus Tannenzweigen gestellt. In den Kranz werden vier Kerzen gesteckt, von denen an vier Sonntagen jeweils eine neue Kerze entzündet wird. Traditionell versammeln sich die Familienmitglieder an den Sonntagen im Advent, den Adventssonntagen, und trinken gemeinsam Tee oder heiße Schokolade, essen selbstgebackene Plätzchen oder singen Weihnachtslieder. In der Adventszeit soll man zur Ruhe kommen, sich auf die Geburt von Jesus vorbereiten und der Hektik des Alltags entfliehen.



シュトレンと言うお菓子パン

年末まであと少しですね。クリスマスの為に帰国するALTと国際交流員が多いと思いますが、私は日本で今年3回目のクリスマスとお正月を過ごすこととなります。日本で知ったクリスマスと年越し・お正月の習慣がドイツとずいぶん違います。ドイツでは、クリスマスが最も大切なキリスト教の祭日です。数か月前から様々な店がクリスマスのお菓子、クッキー、シュトレン（お菓子パン）、レープクーヘン（スパイスが入ってるクッキーの一種）を販売します。日本では10月末までハロウィン時期ですが、ドイツの方は早くからクリスマス・イブを楽しみにしています。

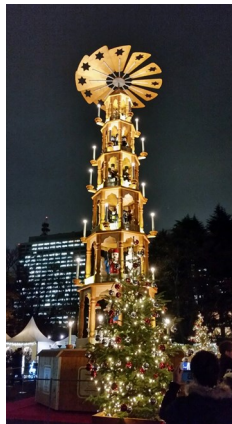
クリスマス・イブの約1ヶ月前から本当のクリスマス時期がはじまります。この四週間を待降節・アドヴェントと言います。ドイツの家ではクリスマスの飾りつけをしますが、例えばテーブルの上にモミの木の枝で作ったアドヴェンツクランツ（リース）を置くことが最も多いです。リースにろうそくを4本用意し、最初の日曜日に1本目のろうそくに火をともし、その後、毎週の日曜日に火を灯するろうそくを増やしていくという習慣があります。昔からアドヴェントの日曜日に家族が集まって、お茶がホット・チョコレートを飲んだり、手作りのクッキーを食べたり、クリスマス曲と一緒に歌います。アドヴェントの時期はイエス・キリストの誕生を楽しみながら、日常のストレスを忘れて、ゆっくりできる時期です。

Am 6. Dezember ist in Deutschland Nikolaustag. Kinder stellen am Vorabend einen Stiefel vor die Tür und dieser wird über Nacht vom Heiligen Nikolaus mit Nüssen, Orangen und Anderem gefüllt. Diese Geschenke gibt es aber nur, wenn das Kind im letzten Jahr sehr brav war. Denn der heilige Nikolaus kommt nicht alleine, sondern bringt seinen Helfer, Knecht Ruprecht, mit. Und dieser bestraft alle Kinder, die nicht brav indem er ihre Stiefel mit Zweigen befüllt.

12月6日はドイツで聖ニコラウスの日と呼ばれています。前夜、子供たちが自分の長靴をドアの前に置いておくと、朝までに聖ニコラウスが靴に木の実、オレンジなどを入れてくれます。ただ、子供が一年間いい子にしていなかったら、聖ニコラウスからのプレゼントはもらえません。実は、聖ニコラウスは一人で来るのではなくて、クネヒト・ルプレヒトと呼ばれる付き人を連れてきます。悪い子供の長靴にはクネヒト・ルプレヒトが小枝を入れます。



ベルリンのクリスマス・マーケット



クリスマスピラミッド



ツリーのオーナメントを売っているブース

Zum Dezember gehören in Deutschland auch Adventskalender mit 24 Türchen, von denen jeden Tag bis Heilig Abend eines geöffnet werden darf. Adventskalender gibt es in vielen Variationen, immer erhält man aber ein kleines Geschenk beim Öffnen der Tür. Gekaufte Kalender sind oft mit Schokolade gefüllt, selbstgebastelte Kalender allerdings mit individuelleren Geschenken.

12月のもう一つの人気な物はクリスマス・イブまでの日数を数えるためのアドヴェンツ・カレンダーです。カレンダーに窓が描かれていて、クリスマスまで毎日一つずつ開けます。アドヴェンツ・カレンダーは様々な形がありますが、窓を開けていくと小さいプレゼントをもらえます。店で買ったカレンダーの中によくチョコレートが入ってますが、手作りのカレンダーの中には個人的なプレゼントを入れることが多いです。

In der Weihnachtszeit werden auch die Straßen festlich beleuchtet und vielerorts hört man Weihnachtslieder. Allerdings ist die deutsche Weihnachtsbeleuchtung meist nicht ganz so bunt und großflächig wie in Japan. Goldtöne mit etwas grün oder rot, oder eben weiße, silberne und blaue Lichter sind sehr häufig zu sehen.

クリスマスの時期には道路のイルミネーションもあって、いろいろなところでクリスマス曲も聞こえます。ただ、ドイツでのイルミネーションは日本のクリスマス・イルミネーションと少し違います。いろいろな色を使うより、金色がメインになることが多いです。金と緑と赤のイルミネーション以外は白、銀と青のイルミネーションがよく見られます。

In vielen Städten gibt es auch Weihnachtsmärkte bzw. Christkindlesmärkte. An vielen Ständen kann man dann Weihnachtdekoration, Geschenke, Süßigkeiten und vieles mehr kaufen. Die Stände selbst sind oft aus Holz und weihnachtlich geschmückt. Zu Essen gibt es viele verschiedene Würste jeweils in einer Semmel als Wurstsemmel zu essen. Und als Getränk sind heißer Glühwein und Punsch am beliebtesten.

様々なまちでクリスマス・マーケットが開かれます。マーケットのブースではクリスマスの飾り物、プレゼント、お菓子などを買うことができます。木で作ったブースが多く、クリスマスのための装飾しています。マーケットでドイツ風ロールパンと一緒にソーセージを食べるのが一番人気です。ソーセージはいろいろな種類があります。飲み物では、ホットワインとプンシュ（お茶、ジュース、お酒などが入っている

Weihnachten selbst wird in Deutschland länger als in Japan und auch länger als in Amerika gefeiert. Am 24. Dezember haben die Läden meist nur bis zum frühen Nachmittag geöffnet und man kann noch ganz schnell vergessene Geschenke einkaufen. Dann aber wird alles geschlossen – auch die Weihnachtsmärkte sind nun vorbei. Familien stellen in ihren Wohnungen Weihnachtsbäume und Krippen auf. In den Kirchen finden Christmetten statt und am Abend feiert man



クリスマスのクripp

mit der Familie zusammen. Viele Familien essen an Weihnachten Würstchen und Kartoffelsalat und dann kommt das Christkind und legt die Geschenke unter den Weihnachtsbaum. Diese werden schon am Abend geöffnet, aber damit endet Weihnachten nicht. Auch der 25. und 26. Dezember gehören noch zu den Weihnachtsfeiertagen und Firmen und Läden haben geschlossen. An diesen Tagen besuchen Familien oft die Großeltern oder andere Verwandte. Dort gibt es dann oft festliches Essen, wie Entenbraten oder Weihnachtsgans.

Weihnachten in Deutschland ist relativ ruhig und besinnlich. Es erinnert ein wenig an Silvester in Japan. Silvester in Deutschland ist dann jedoch kein Familienfest, sondern eine Möglichkeit mit Freunden zu feiern und um Mitternacht das Silvesterfeuerwerk zu sehen. Frohe Weihnachten!

ドイツのクリスマスは日本やアメリカより長い期間お祝します。12月24日は店が昼すぎまで開いていますので、忘れたプレゼントを午前中に買えます。午後になると店が閉まるだけではなく、クリスマス・マーケットも終わります。家族がその日にクリスマス・ツリーを立てて飾り、木の下にクリスマスのクripp(クリスマスに飾るキリスト降誕の情景の模型)も置きます。教会でクリスマスのミサが行われて、夜になると家族が家でクリスマスをお祝します。クリスマス・イブにソーセージとポテトサラダを食べる家庭が多く、



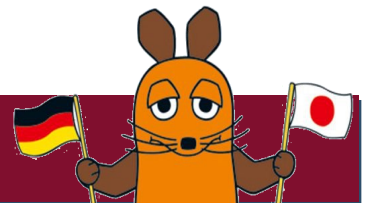
アウグスブルク市内のクリスマス・イルミネーション

写真：Sabine Michler, Michaela Wippel (など)

食後に、サンタクロースではなく、キリストキント(クリスマスの天使)がプレゼントをクリスマス・ツリーの下に置きます。プレゼントはクリスマス・イブに開けますが、それでもクリスマスがまだまだ続きます。12月25日と26日もクリスマスで、会社とほとんどの店がまだ休んでいます。その2日間の間に祖父母か他の家族の家に行くことが多いです。そこでアヒルのローストなどをよく食べます。

ドイツのクリスマスは家族と過ごす静かな瞑想的な祝日です。日本でのクリスマスより日本の年越しに似ているはずですが。逆に、ドイツの年越しは家族と過ごす祝日ではありません。大晦日の夜に友達とパーティーで遊んでいることが一般的です。そして、深夜0時の花火が夜のハイライトになります。

メリークリスマス！



簡単なドイツ語を紹介します！

Frohe Weihnachten!	フロエ・ヴァイナハテン	メリークリスマス
Guten Rutsch (ins neue Jahr)!	グーテン・ルツチ(・インス・ノイエ・ヤー)	良いお年を
Frohes neues Jahr!	フロエス・ノイエス・ヤー	新年おめでとう
Alles Gute zum Geburtstag!	アッレス・グーテ・ツム・ゲブーアツターク	お誕生日おめでとうございます

世界の綺麗なまちの紹介

R o m a （イタリア）

イタリア

人口：約286万人



写真：Stefan Wagner

1 2月のニュースレターではクリスマス为主题としています。クリスマスに関係するまちがとても多くあります。例えば、ドイツのローテンブルク市の中心に「ケーテ・ウォルフアルト本店クリスマスビレッジ」があります。一年中クリスマス商品を買っている店です。そして、キリストの降誕に関する物語の中でベツレヘムとナザレの話がありますので、そのまちもクリスマスと深い関係があります。

イタリアの首都ローマもキリスト教のクリスマスと特別な関係を持っています。なぜなら、ローマ市の中に世界最小国家であるバチカン市国があるからです。キリスト教の宗教国家として、とても特別な国家です。もちろんバチカン市国に住んでいる人の100%がキリスト教信徒です。ただ、人口は約850人しかいません。

復活祭（イースター）とクリスマスはキリスト教の最も大切な祝日なので、バチカン市国はそれを盛大にお祝っています。クリスマス・イブにローマ教皇がサン・ピエトロ大聖堂の中で大勢の人々の前でクリスマスのミサを開いています。そして、25日の昼に教皇が全世界に向けて「ウルビ・エト・オルビ」と言う公式な祝福をおくります。様々な国からキリスト教信徒がそれを直接に聞く為にローマを訪れます。ローマでは381年から12月25日にクリスマスをお祝っています。その前も12月25日が祝日でした。実は、古代の同じ日にローマ神話のサートウルヌス神の祝日がありました。

今までローマの一番面白いクリスマスは1300年のクリスマスだったかもしれません。（その時は、新年がクリスマスからはじまっていた。）1300年のクリスマスの前に、ある噂が広がりました。噂によると当年のクリスマスにローマにいるキリスト教信徒が特別な免罪をもらうと言う事でした。ただの噂でしたが、それを信じた人々が多くて、結局サン・ピエトロ大聖堂には入れない人がいっぱいでした。ローマ教皇もすごく驚いて、1月1日に1300年が聖年になることが決まりました。

バチカン市国とサン・ピエトロ大聖堂とローマ市の旧市街が1980年にユネスコの世界文化遺産になりました。ローマ市の旧市街で古代などの建物や古跡がまだいっぱいあります。例えば、フォロ・ロマーノ、コロッセオ、スペイン広場、サンタンジェロ城、トレヴィの泉等々です。昔からある建物が残っているので、ローマは「永遠の都」と呼ばれています。

フォロ・ロマーノ



トレヴィの泉



サン・ピエトロ大聖堂 (外)

サン・ピエトロ大聖堂(内)

ドイツ料理コーナー

11月の料理教室でシュニッツェルを作りました。サイドメニューはジャーマン・ポテトとキュウリのサラダでした。

Schnitzel

シュニッツェル (ドイツ風とんかつ) 調理時間: 30 分
出来上がりの分量: 4 人前

材料



子牛のもも肉 (豚の肩肉)
600g (150g x 4枚)

卵
3個

塩
少し

こしょう
少し

小麦粉
少し

パン粉
少し

レモン
1個

サラダ油
200g
大きいフライパンを使っている時、
サラダ油の量が増える

バター
50g
大きいフライパンを使っている時、
バターの量が増える



作り方

- 1:
パン粉を細かくする。(例えば、袋に入れて、細くなるまで叩く。)
- 2:
もも肉を筋切りして、小さいビニール袋に入れて、厚さが5mm以下になるまで叩き薄くする。
- 3:
もも肉の両面に塩とこしょうで下味をつける。
- 4:
三つのボウルか皿に小麦粉、卵、パン粉を入れる。もも肉に小麦粉をつけてから、卵をつける。最後にパン粉をつける。
- 5:
サラダ油をフライパンに入れて (高さ2cmぐらい)、フライパンをたまに動かしながら、もも肉を焼く。他のフライパンにバターを入れて、もも肉に焼き色がついたら、1分ぐらいバターで焼く。(中火)
- 6:
キッチンペーパーを使って、もも肉から余分な油をとる。それでできあがり。
- 7:
レモンをスライスにする。
- 8:
レモンスライスを添えて、シュニッツェルを食べる。

メモ

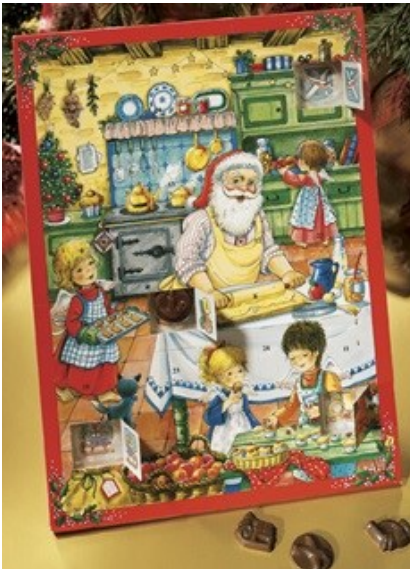
ドイツのパン粉は日本のパン粉より細かいので、日本のパン粉を使う時、細かくしなければなりません。

ALTコーナー

ALTのエリンさんがクリスマスについて書いてくれました。

When I was little, it seemed to take forever for Christmas to get here. My brother and I would count down the days on our chocolate advent calendars, but that never stopped us from asking our parents, “Is it Christmas yet?” I don’t think chocolate advent calendars are technically an American Christmas tradition, but they were our tradition. Every family has its own Christmas. I hope you enjoy what I have to tell you about mine.

子供の頃、クリスマスがくるのを待つ時間がいつも永遠のようにながく感じました。チョコのアドヴェンツ・カレンダーで、クリスマスまでの日々を数えていても、両親に「クリスマスはまだ？」とよく聞きました。チョコのアドヴェンツ・カレンダーはアメリカのクリスマス習慣ではなかったと思いますが、私の家族では習慣でした。それぞれの家族に特別なクリスマスの祝い方があると思います。私のクリスマス話を楽しんで読んでください。



アドヴェンツ・カレンダー



エリンさん



エリンさんと弟のジョシュさん

I never believed in Santa Claus, but I still loved opening presents. My little brother and I would sneak into our parents’ room to try and figure out what was in the boxes and bags they had hidden there. Sometimes there was just wrapping, and we’d try frantically to guess what its shape meant. But my parents were clever, and always had ways to trick us. They would put the presents in the containers for other things, or wrap them so thickly it was impossible to tell what sort of shape the gift had. One Christmas Eve, my dad played a huge prank on our love for presents.

私はサンタさんを一度も信じたことがありませんでしたが、プレゼントを開けることがとても好きでした。弟と一緒にこっそりと両親の部屋に入って、そこに隠したボックスと袋にどんなプレゼントが入ってるかを考えてみました。たまにラッピングだけを見ながら、この形のものは何だろうと必死に考えていました。ただ、両親は頭がいいので、私たちをいっぱいだましました。例えば、プレゼントを全然違う形のボックスに入れたり、形がなくなるぐらいラッピングを厚くするなどでした。そして、あるクリスマス・イブの日、父がプレゼントが大好きな私たちに大きな悪ふざけをしました。

“Daddy, Daddy! Brandon gets to open an early Christmas present!” My brother Josh was angelically adorable at the time, all golden blond curls and giggles. He knew how to use this to his advantage. “Don’t you think we should open something early too?” he prodded, after telling his friend’s story.

Dad gave us a funny look. “What exactly is an ‘early Christmas present’?” he asked. “The kind you open on Christmas Eve!” I explained. I was hoping for a stuffed animal. I loved stuffed animals. Dad thought for a minute. “Fine,” he said, “but I get to pick which gift you open.”



クリスマスの降誕劇に参加したエリンさん

“Yaaaay!!!” While Mom usually got us boring, useful things like socks, my brother and I knew we could count on Dad to offer a new Lego set or something fun for Christmas. We hopped around eagerly, hardly able to contain our excitement.

At the time, we had just renovated our basement. Dad took us down to wait in one of the new rooms, nudging open a door that still didn’t have a knob. “Wait here,” he told us with a sly grin. “I’ve got the perfect presents for you to open early.”

My brother and I squealed with joy when Dad came back with identical bags. Frantically, we ripped them open and pulled out what was inside. Dad’s perfect presents came into the light, shining in their boxes.

They were a pair of door knobs. Dad had wrapped some new furniture just for us. We still have those door knobs. They are very useful. But my brother and I haven’t forgotten the Early Christmas Present Prank. Someday, we promised each other, we’ll get Dad back for this.

「お父さん、お父さん！友達のブランドンがクリスマス・プレゼントを早めに開けようとしている！」それを言った弟のジョシュがその時、天使のようにかわいらしかったです。弟は金髪の髪がカールしていて、いつも微笑んでいました。弟は自分に好都合となるこのかわいらしさの使い方を知っていました。「ね、私たちもはやめにプレゼントを開けてもいいよね？」と弟が聞きました。

「プレゼントをはやめに開くってどういう意味？」父がおかしな顔で私たちに聞きました。「クリスマス・イブに開くってこと！」と私が答えました。私はぬいぐるみをもらいたかったです。ぬいぐるみが大好きでした。少し考えてから、父が「いいよ」と答え、「お父さんがそのプレゼントを選ぶよ」と言いました。



エリンさん

やったー」と喜んでいました。実は、母のプレゼントは靴下などの便利な物ですが、私と弟は父から普通にレゴのセットなどの面白いプレゼントをもらえるはずだと思っていました。びよんびよん跳ねながら、楽しみにしていることを隠せませんでした。

それはちょうど地下を建て直していた年でした。それで父と新しくなった、ドアにまだドアノブがついていない部屋に入りました。「ここで待ってね」と父がにやにやしながら言いました。「早めに開ける子供たちにふさわしいプレゼントがある！」

父が同じボックス二つを持って帰った時、弟と私が喜んでキーキー声をあげました。すぐにプレゼント開けて、中身を出しました。ボックスにあった父からの私たちにふさわしいプレゼントが光でキラキラしました。

それは一組のドアノブでした。わざわざ父が備品をラッピングしてくれました。この時のドアノブをまだ持っています。とても便利です。でも、弟と私がこの一足先のクリスマスのジョークを忘れられませんでした。いつか父にリベンジすると約束しました。

11月の写真



はじめての出前講座！聡明中学校の皆さん、ありがとうございました！



11月の料理教室



Upcoming Events! これからの国際交流イベント (12月・01月)

◇ ドイツ語講座 & ランチと国際交流フリートーク

日時：12月07日 (水)

場所：社会教育センター 研究室 6

⇒ドイツ語講座 (初級)

時間：11時30分～12時10分

⇒ランチと国際交流フリー・トーク

時間：12時15分～13時00分

(* お弁当を持参してください。)

日時：01月18日 (水)

ご注意：1月からドイツ語講座の時間が変わります！

場所：社会教育センター 会議室 3

⇒ドイツ語講座 (初級)

時間：11時00分～12時00分

⇒ランチと国際交流フリー・トーク

時間：12時00分～13時00分

(* お弁当を持参してください。)

◇ 国際交流 Winter Party 2016

日時：12月18日 (日) 14時～17時 (次のページを見てください)

◇ カリナの楽しい料理教室 (西ドイツ料理など)

日時：01月24日 (火) 10時30分～13時30分

場所：社会教育センター 調理室

参加費：1000円程度

申込み：電話かメールでお申込みください。締切：01月19日(木)

連絡先 (申し込み・質問・コメントなど)

国際交流員：カリナ・ブリス

Tel. (0982) 22-7006 (総務課内)

Mail: kokusai@city.nobeoka.miyazaki.jp

* 12月の料理教室は中止になります。

料理教室の代わりに12月13日(火)にウィンター・パーティーのためのドイツ風のクッキーなどを作ります。ボランティアとして手伝っていただける方は、ご連絡ください。

国際交流 Winter Party

International Winter Party 2016 Internationale Winter Feier 2016



国際クリスマス？
あ、楽しそう！
皆さんと参加したい！

12/18 SUN
14:00 (開場 13:30)
START

- ★ ドイツでのクリスマスの紹介
- ★ ドイツクリスマス料理
- ★ 楽しいゲーム・工作
- ★ クリスマス・クッキー
- ★ 世界中のクリスマス：写真展
- ★ SPECIAL Performance:
～ クリスマス曲の演奏 ～
- ★ サンタさんとクリスマス天使の登場
- ☆ Ray Espinol (日之影町ALT)
- ★ プレゼント交換
- ☆ Erin Cushing (延岡市ALT)

日時： 12月18日(日) 14時～17時

場所： 南方東コミュニティセンター (延岡市西階町1丁目4183番地1)

参加費： 500円 (材料代として)

持参物： 小さいプレゼント(300円ぐらい)を持参してください。

申込み： 延岡市役所国際交流推進室(総務課内)

国際交流員： カリナ・ブブリス

Tel. (0982) 22-7006

電話でお申込みください。 締切：12月14日(水) 先着：40人



Information: International Winter Party 2016

Date: Dec. 18th Time: 14:00-17:00 Place: Minamikata Community Center (Nobeoka, Nishishina, 1-4183-1)

Entrance fee: 500 Yen Please bring a small present for the gift exchange! (Value about 300 Yen)

Registration: Nobeoka City, International Exchange Promotion Office

Tel: (0982) 22-7006 Email: kokusai@city.nobeoka.miyazaki.jp

Registration Deadline: December 14th